

2023年1月24日 日刊建設工業新聞

総合資格学院町田校で学んだ

波島 諒さん



大学院生で1級建築士ストレート合格

総合資格学院町田校（東京都町田市）で学んだ大学院生が2022年度の1級建築士試験にストレート合格した。本業である大学院での研究と並行して取り組んだ試験勉強

では、限られた時間の中で不安を感じつつも、学院での授業や情報交換でモチベーションを維持しながら難関試験を突破した。

学という壮大な学問の裾野を理解する知識の土台とするため」。また、社会的な信用を得る手段としても「受けない選択肢はなかった」と振り返る。研究室では受験することを公表していなかったため、同

与えられた以上の課題やり続けた

快挙を達成したのは明治大学大学院理工学研究科建築都市学専攻修士1年の波島諒（なみしま・りょう）さん。写真。地域包括ケアシステムの新たな方向性に関する計画などの制度や構法などが専攻分野だ。資格取得の動機は「できるだけ早い段階で建築し」とにかく与えられた以上

じ目標に向かって共闘する友人がいなかったことが閉塞感（へいそく）を生んだと話す。この勉強方法で合格できるのか、もっと時間をかけないといけないのかなど不安は尽きなかったという。それでも学院で与えられた課題に対して「とにかく与えられた以上

をやり続けることを心掛けた」と吹っ切ること、一気に合格を勝ち取った。修士課程修了後は博士課程に進み、より深化した研究を続けることを希望している。将来的には研究成果を実際のまちづくりに反映させる夢を抱いている。合格を報告すると大手ゼネコンに勤める父親が喜んでくれたことがうれしかったと話す。「普段、あまり会話をしない父が祝福してくれました」と笑う。

今後は難関の国家資格に合格した誇りを胸に、資格に恥じない日々を送りたいと気持ちを引き締める。「支えてくれた人たちに少しでも恩返しできれば」と前を向く。